

ゆりはま議会だより

令和 8 年 7 月 31 日発行 発行：鳥取県湯梨浜町議会



「この海を未来へ（石脇海岸でSUP）」関連記事は裏表紙

- 暮らしと産業を支援 …… 2
- 上下水道料金 値上げを検討 … 5
- サッカー場リニューアル … 6
- 読者アンケート募集 …… 15



議会ホームページ・
YouTubeはこちらから！

暮らしと産業を支援

6月定例会 一般会計補正予算 2億7577万円を追加

6月定例会に提案された議案を慎重に審議し、すべての議案を可決しました。また、議員発議による国に提出する意見書3件を原案のとおり可決しました。

ビニールハウス 導入に追加支援

・特産果物生産振興事業
755万円

原油価格の高騰や原料不足により資材価格が高騰している中、二十世紀梨、メロン、スイカなどの生産者の負担軽減を図るため、さらなる支援を行なう。

米を増産する 農業者を支援

・令和の米増産緊急支援事業
706万円

主食用米を令和9年度までに20%以上増産する農業者に対して、設備導入経費の1/2を支援。生産力増強と担い手の育成を図る。



長期化する物価高へ農業支援

漁業者へ燃油支援

・漁業者燃油高騰対策支援事業
77万円

燃油価格の高騰により操業に必要な燃料費の上昇を受ける漁業者に対して、給付金を支給し漁業継続を支援する。

安定的な運営へ

・私立保育所等物価高騰対策支援事業
37万円

私立施設には県応援金が交付されるが、公設民営の「ながせこども園」は対象外のため、国交付金を活用し

運動不足解消へ

・ママアップパーク事業
347万円

産前産後の母親を対象に自宅から参加できるオンライン運動教室を中心とした健康支援プログラムを実施し、健康増進を図る。

快適な保育環境へ

・こども園整備事業
168万円

各こども園のエアコンや遊具など、老朽化した設備を改修・修繕・更新し、安全な保育環境を維持する。

・約2億4千万円を追加した東郷運動公園の改修事業については、6ページに掲載しています。

本会議での議決結果

件名		議案（陳情）に対する表決 （○：賛成 ×：反対 欠：欠席 棄：棄権）											議決結果
		光井	小川	河田	増井	小泉	森	米田	浜中	南	三谷	松岡	
議案	議案第57号 令和8年度湯梨浜町一般会計補正予算（第2号）	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	賛成8人 可決

※議案の採決は、磯江議長を除く11人で行ないます。 ※上記以外の議案は、全会一致で可決または同意しました。

請 願 ・ 陳 情 審 査 結 果

常任委員会に付託した請願・陳情は、慎重に審査を行ない、次のとおり決定しました。

件 名	委員会 採決結果	本会議 議決結果	委員会の意見
政府に所得補償（直接支払い）制度の実現を求める請願書	採 択	賛成11人	国に意見書を送付
農家・生産者への所得補償制度の法制化を求める陳情書	採 択	賛成11人	国に意見書を送付
自衛隊員の政治的中立性の確保について（陳情）	採 択	賛成11人	国に意見書を送付
mRNA ワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書	継続審査	—	—

請願・陳情は、FAX・電子メールでの提出も受け付けます！

記載内容、提出先など手続きに関することは、町ホームページをご確認いただくか湯梨浜町議会事務局へお問い合わせください。

【電話】0858-35-5341 【FAX】0858-35-5342

【メールアドレス】ygikai@yurihama.jp



総務産業常任委員会・教育民生常任委員会で、執行部から事業説明を受けるとともに、事業の執行状況や効果などについて質疑を行ないました。その主なものを掲載します。

旧東郷中学校跡地 ウイスキー計画再開

☆松井酒造（名）から順延していた投資計画の再開が報告された。本年7月にウイスキー蒸留所の建設に着工、令和9年3月完成、4月から蒸留開始を予定。令和12年頃から日本酒やビールの醸造所などを順次建設する予定。

問 町の支援方針は。

答 県と連携しながら補助金などで支援していきたい。

問 町の特色を反映した商品の開発は。また、いつ頃から商品化されるか。

答 フルーツなどの特産品とあわせた商品開発も可能。蒸留が始まれば、すぐに商品化できる。

問 本町での事業展開は、会社全体でどのように位置づけられているのか。

答 東南アジアで最大の蒸留所（蒸留器を20基設置）となり、会社にとって重要な拠点となる。

問 ウイスキーの製造には大量の水が必要だが、十分に確保できるのか。

答 蒸留には冷やす工程があり、多くの水が必要だが、



ウイスキー蒸留所の完成イメージ

が、倉吉工場でのノウハウを活かし、水を再利用する設計にしている。

水明荘 新プランで収益向上へ

☆令和7年度は、天災や物価高による合宿キャンセル

などの影響を受け、営業目標は未達成となったが、自社独自の集客力は向上した。令和8年度は反省を活かし、新会席プランやランチバイキング、新規保養施設契約などでブランド確立と収益向上をめざす。

問 グラウンド・ゴルフの聖地である本町への団体旅行を促すため、ウェブ発信を強化してはどうか。

答 グラウンド・ゴルフの団体プランは屋外競技の雨天対応や会場確保が難しいこともあり、少人数向けのプランで検討する。

問 「名探偵コナン」人気による宿泊需要を捉えるなど、広域連携で本町への宿泊誘致や相談体制の構築を模索しては。

答 県内営業を重視し、美術館やコナン、三徳山などの他町の魅力と本町を結ぶ連泊プランを検討している。

上下水道料金

値上げを検討

☆上下水道事業の経営状況や将来の施設更新費用などを踏まえ、上下水道料金の改定案について説明を受けた。町は上下水道料金検討委員会の意見を参考に、令和9年4月から平均約15%増の料金改定を予定している。

問 料金改定を行なう理由は。

答 人口減少による料金収入の減少に加え、上下水道施設の更新費用、維持管理費の増加が見込まれるため。

問 今後の予定は。

答 上下水道料金検討委員会からは、利用者への十分な周知や生活困窮者への配慮などの意見が示された。9月議会へ条例改正案を提出予定。



暮らしに欠かせない水道

污水处理施設の

広域化が難航

☆中部地域の污水处理施設の広域化について、中部の1市4町で協議した結果の報告があった。

全体統合は困難なため、今後は、天神川流域エリア、北栄町大栄・北条エリア、琴浦町東伯エリアの3つに分割し、協議を進める。

問 全体統合案に対する本町の考え方は。

答 計画の詳細が決まっていなかったため、合意は難しい。また、豪雨時などの緊急時の対応についても懸念がある。

問 今後のスケジュールは。

答 地元への説明を行なった後、秋頃までに基本的な合意をめざす方針。

特定空き家への対応は

☆令和7年度末時点の町内の特定空き家は74件あり、令和12年度末までに半分の37件に減らすことを目標とする。勧告を見据えた指導

の結果、1件の除却が完了した。

問 特定空き家に倒壊の心配がある場合、町はどう対応するのか。

答 文書での指導はしているが、基本的には所有者が除却するのが大原則である。

今滝梨団地 委員会での現地視察

☆アンカー打設のやり直しに伴う増額と、防災ネット設置を秋以降へ延期。

問 今後の散水設備の施工業者は、前回と同様に町内業者だけなのか、町外業者も入札に加えるのか。

答 発注については、指名審査委員会の中で協議する。指名業者についてもその中で検討していきたい。

問 梨園内の通路幅が十分

に確保できず、工事のやり直しを希望されている。今後は、経験のある業者を選定してほしい。

答 施工自体は設計どおりに施工されていたが、現場確認の際に入植者から通路が通りにくいという指摘があり、設計の一部に反省点があった。

・6月30日に委員会での現地視察を行ない、今滝梨団地の入植者と意見交換をしてみた。



運動公園サッカー場

リニューアル

☆東郷運動公園の多目的広場・フットサル場は、平成23年に天然芝から人工芝に改修してから15年が経過した。芝の劣化やくぼみが生じているため改修を行なう。工事費は約2億4千万円で、国交付金と過疎債を財源とする。

問 工事費が高額ではないか。

答 改修の必要性や、事業内容に関する説明が不十分

答 前回の施工時と比べ、人工芝の価格が2・2倍に上昇しており、その他の費用も上昇した。

問 工事費が変更となる可能性はあるのか。

答 一定程度、環境にも配慮して見積もっており、現時点ではこの予算額を上限と考えている。

問 多額の事業であるのに、議会への丁寧な説明や情報共有が不十分ではないか。



人工芝の改修で全力プレーへ
(東郷運動公園 多目的広場)

分だった。補正予算で計上した理由は、国交付金が4月に決定となったため。

問 マイクロプラスチックの流出防止など、環境対策は。

答 今後、施設状況を踏まえ、飛散・流出防止対策を考慮した設計を行ないたい。

いづも園

新設統合が主軸

☆泊地域の2つのこども園施設の老朽化や園児数の減少などを踏まえ、現状に合った望ましいこども園の整備・運営計画の策定を進めていくため、泊地域こども園整備検討委員会（仮称）を設置する。

問 当時、保護者から十分な意見交換がされていないとの意見もあった。ニーズ調査やアンケートだけでは民意はくみ取れない。今後どのように進めるのか。

答 アンケート内容を検討し、連絡帳アプリなども使って意見を聴取していく。

問 泊地域のこども園には羽合地域から通っている園児もいる。委員会には泊地域からだけでなく他地域の人も含めたほうがよいのではないか。

答 泊地域だけではなく、町全体の問題として考えていく必要がある。地域を限定せず、幅広く意見を集められるよう進めていく。



鉄棒チャレンジ！（あさひこども園）

新たなトレーニングマシン導入

☆湯梨浜みんなのげんき館には、7種類10台のトレーニングマシンが設置されている。新たにレッグプレスを導入し、転倒防止やフレイル予防の効果を期待する。
導入経費は約210万円で、スポーツ振興くじ助成金135万円を活用する。

問 導入の理由は。

答 利用者から、現在のマシンでは脚の前後の筋肉を十分に鍛えにくいという声もあり、導入を決めた。

問 財政状況が厳しさを増す中、費用負担の考えは。

答 本館では利用料を徴収しており、市民の健康づくりと運動習慣の定着を目的とした施設である。



気軽に運動習慣を
(湯梨浜みんなのげんき館)

問 議会への導入計画とプロセスの説明が遅い。

答 もう少し早い段階で、説明をすべきであった。

問 女性が利用しやすい環境づくりは。

答 女性専用の時間帯や曜日の設定については、今後検討したい。
スタジオプログラムについても、女性の利用者を意識した内容を検討したい。

関係機関との連携で不登校減少

☆令和8年5月末現在の町立小・中学校における不登校の状況は、小学校では1人(フリースクールに通学)、中学校では0人。

各学校での不登校児童生徒への未然防止の取組、関係機関との連携により不登校が減少した。

問 不登校児童生徒の「学容」とは何か。社会とのつながりが増える行動全般も含まれているのか。

答 家で過ごしていた不登校児童生徒が、専門機関

への相談、フリースクールへ通学するなどが該当。登校できるかできないかだけでなく、動き出そうという変化が表れているかどうかを「前向きな行動変容」と捉えている。

問 昨年度は中学3年生の不登校生徒が多かったが、卒業後、その子たちにとどのようにアプローチしているのか。

答 町としては高校入学までしか把握していない。町は小学校6年間、中学校3年間を通して、生きる力をつけることを目標に取り組んでいく。

問 出席扱いのフリースクールに通う児童生徒も、不登校としてカウントされているのか。

答 フリースクールに通っている児童生徒であっても、学校を30日間欠席していれば不登校となる。

町政をただす



6月定例会では、9人の議員が一般質問を行ない、活発な議論を展開しました。

一般質問とは、議員の日常の活動と調査研究、住民の声や自身の考え方にもとづき、町長や教育長の方針を問い質すものです。

質問時間は、答弁も含めて1人60分以内で、質問回数に制限はありません。

質問者	質 問 事 項	ページ
三谷 侑生	ながせこども園の運営改善を	9
	既存施設を活用し、全天候型の遊び場の整備を	
南 克憲	感染症への対応と今後の予防対策は	10
浜中 武仁	介護保険料の抑制を	10
松岡 昭博	グラウンド・ゴルフを世界共通のツールへ	11
	歴史を活かした新しい観光イメージを	
米田 強美	どうする、新たな地方創生	12
	ウォーキングリゾート 今後の取組は	
森 哲也	不登校児童生徒への多様な学びの保障を	13
小川 遊	本町の公共交通と地場産業の展望は	13
増井 久美	旧たじりこども園の活用は	14
	物価高騰対策をしっかりと	
小泉かさね	妊婦へのRSウイルスワクチン定期接種における町の役割は	15

ながせこども園の運営改善を

町長

社協と協力連携を図る



三谷 佑生
みたに ゆうき



町立ながせこども園
(社協が運営)

【三谷】ながせこども園では保育士の退職が相次いでおり、保護者からは運営体制の改善が求められている。安心・安全な子育て環境確保のために、町と社会福祉協議会(社協)が一体となり、早急に改善を図る必要があると考えるが、対応方針は。

【町長】運営主体である社協は、保育士確保を喫緊の課題と捉え、引き続き求人情報を出す。

また職員への対応として「業務手当」の新設を考えている。経費補助や町営他園との人事交流の拡大など、社協との協力連携を図る。

【三谷】子育て世代に選ばれ保育士に選ばれる町となるために、近隣に先駆けて保育士の処遇改善や柔軟で余裕のある人員配置、保育現場のDX推進、働きがいの向上などに取り組む必要があると考えるが、今後の戦略は。

【町長】町では「こども園業務改善推進会議」を設置し、「ICTを活用した事務負担軽減」「重複書類の見直しと簡素化」などにより、業務負担の軽減を図っている。今後とも保育現場のニーズを把握しながら、保育士の職場環境の改善に全力を注いでいく。

既存施設を活用し、全天候型の遊び場の整備を

町長

龍鳳閣内の和室利用を協議

【三谷】多くの子育て世代が、全天候型の遊び場の整備を望んでいる。

まずは、町内に既にある室内で遊べる施設の情報、分かりやすく整理し、子育て世代に届くように発信していくことが必要ではないか。

【町長】全天候型の遊び場の確保に関しては、ウェルビーイングタウンプロジェクトの指針を受け、町ホームページに「子どもが遊べる施設や公園」として掲載した。今後は、写真や位置図などを掲載し、より分かりやすいものにしていく。SNSやICTも活用し、広く周知していきたい。



全天候型施設として期待される龍鳳閣

【三谷】龍鳳閣内の空きスペースを活用し、室内の遊び場を整備してはどうか。より気軽に利用者が訪れるようになり、人気の全天候型の遊び場として定着し、また、エリア全体のにぎわい創出にもつながるのでは。

【町長】龍鳳閣の旧「ゆとろぎ」の和室スペースは、特別な工事をすることなくキッズスペースとして利用できる。既存施設の有効活用に向け、指定管理者と協議していきたい。

感染症への対応と 今後の予防対策は

町長

行動計画の改定と 予防対策の徹底



みなみ
南

かつのり
克憲



感染症予防として手を洗う児童

【南】昨年度、インフルエンザなどの感染症が流行し、学校・学級閉鎖に至った要因と、その際の対応について伺う。

新型コロナウイルス禍では手洗い、うがい、消毒、マスク着用の徹底により、インフルエンザ感染が大幅に抑制されたが、その教訓が十分に生かされなかったのではないかと。警報発令時の対策やマスク着用の運用状況を検証するとともに、今後、教育施設を含め、町全体で取り組むべき効果的な感染症対策について、見解を求める。

【町長】昨年度は、型が異なるウイルスの連続的な流行、コロナ禍での手洗い徹底などによる集団免疫低下でインフルエンザが長期間流行した。今後は行動計画を改定し、国・県と連携した情報周知やワクチン接種などの予防対策を徹底する。

【教育長】潜伏期間中の登校などが拡大の要因だが、児童の心身への影響を考慮し、感染拡大防止と教育活動継続とのバランスを重視した。今後は換気や手洗いなどの予防策を徹底し、国などの指導を遵守して、学校と連携し対応する。

介護保険料の抑制を



はまなか
浜中

たけとし
武仁

町長

効果的な介護予防に 力を入れる

【浜中】国の動向を踏まえ、第10期介護保険事業計画の策定スケジュールは。

【町長】様々な調査、委員会を開催し、パブリックコメントを経て、2月に最終計画案を作成する予定。

【浜中】高齢化率や要介護認定者数、介護給付費の推移など、本町の介護保険事業の現状と課題は。

【町長】高齢化率は33.6%、要介護認定者数は728人。介護給付費は過去10年間で10%増。介護保険事業計画は、計画どおりか、それ以上の実績と考えている。



フレバス教室で介護予防

【浜中】介護人材不足や2040年問題を踏まえ、将来の介護サービス維持と課題をどう認識しているのか。

【町長】ICT技術、人材の効率的配置、地域で介護を支えあう仕組みなどを組み合わせた体制へシフトし、維持をめざす。

【浜中】本町の介護保険料基準額は県内でも高い。第10期計画期間中の保険料の抑制策をどう考えているのか。

【町長】介護施設が多くあることが要因。丁寧な相談対応、効果的な介護予防に力を入れる。

グラウンド・ゴルフを 世界共通のツールへ

町長

国内外へ魅力と 価値をさらに発信



まつおか 松岡
あきひろ 昭博

【松岡】グラウンド・ゴルフ（GG）は、1982年に旧泊村で考案され、急速に普及している。そのイメージや価値をどのように考えているのか。

【町長】GGは、誰でも楽しめる生涯スポーツ。二十世紀梨や温泉、東郷湖、日本海などの地域資源と並ぶ、大切な地域の宝だと認識している。

【松岡】GGの「聖地」としての知名度向上に向け、どのような対策を考えているのか。

【町長】海外へのトップセールスや国際大会を通じて交流を深めるとともに、「潮風の丘とまり」の整備など、受け入れ環境の充実に取り組む。

【松岡】GGは「湯梨浜町内のスポーツ」から「世界共通の健康と交流のツール」へと進化させることができると思うが、どのように考えているのか。

【町長】ワールドマスタースゲームズ2027関西は、GGを世界へ発信する絶好の機会。魅力が広まり、交流大会が増えることを願っている。



国際大会における始球式
（潮風の丘とまり）

歴史を活かした 新しい観光イメージを

町長

文化・歴史で

教育旅行を受け入れ

【松岡】本町には、歴史・史跡が豊富にあるものの、温泉宿泊客数は、減少傾向にある。

本町の新しい観光イメージとして「天女の湯の里」や「鎌倉・戦国時代などにタイムスリップできる郷」としてPRしてはどうか。

【町長】歴史や文化に着目し、近年は県外の高校や大学から多くの学生が訪れており、教育旅行も文化・歴史の面での受け入れを考えたい。

【松岡】中部観光ビジョンの進捗状況と本町の取組はどうなっているのか。

【町長】昨年の中部全体の観光客数は438万人。成長軌道に乗せられ



羽衣天女のモニュメント
（めぐみのゆ公園）

今後、インバウンド増加に向けた対策はどうするのか。

本町でも宿泊者数は増加傾向であるが、道の駅はわいの空きテナント対策や情報発信力を高めたい。

【松岡】インバウンドの本町への訪問目的は、

【町長】宿泊目的の来訪者が多く、昨年の本町への宿泊者数は約6500人。今後も鳥取県中部観光推進機構と連携し、推進を図っていききたい。

どうする、新たな地方創生

町長

観光と農業を軸に地域活性化



よね だ つよ 米田 強美



温泉熱栽培で地域ブランドの創出を
(東郷温泉の源泉・龍島)

【米田】地方創生の方針として、労働生産性の伸び率を上げる目標が示された。その一環としての産業集積計画だが、企業の立地地域との差が生じる懸念がある。町の対応を問う。

【町長】産業集積計画は地域の強みを生かした取組と認識しているが、本町での産業クラスター形成は難しい。

温泉観光や農業を中心に、マンゴー栽培を活用した6次産業化について、県と連携、または町単独での実現を検討する。

【米田】梨の生産性と品質向上などスマート農業の開発・導入に向け、NTT西日本・中部市町・JAなどで共同実証を行った。実証拠点として企業や研究機関の集積が進めば、産業集積計画に資すると思われるが。

【町長】スマート農業の共同実証では防除の有効性が確認されたが、費用対効果や導入後のサポート体制などに課題もある。農業者の意向を踏まえJAと連携して検討を進めるとともに、温泉観光を核とした産業振興プランの中で活用を検討する。

ウォーキンググリゾート

今後の取組は

町長

SNSで魅力発信

【米田】東郷池一周のほかにコースが充実し、大規模な大会も長年開催され、認知度は安定した。大会以外でも継続して町外の人を呼び込み、宿泊や地元商店への波及効果の創出が望まれるが、今後の取組は。

【町長】ウォーキング単体で宿泊需要につなげるのは容易ではないが、SNSで魅力発信し、映えスポットの掘り起こしや磨き上げを進め、健康づくりと観光振興を両立しながら、本町ならではの地域資源を生かした取組を進めていく。



竹木の繁茂により景観が遮られている
(東郷湖畔周回コース・藤津)

【米田】藤津から出雲山展望台までのコースで竹や樹木が眺めを阻害している。継続的な対策を問う。

また、隣接する旧ふじつ荘は長年の懸案事項となっており、解決に向けて一歩踏み込んだ対策が必要ではないか。

【町長】支障木は計画的に伐採し、景観上重要な箇所を優先して県とも連携し、地域の協力も得ながら効率的な維持管理を今後も着実に進める。

旧ふじつ荘は補助制度の活用も含め、所有者と協議していきたい。

不登校児童生徒への 多様な学びの保障を



もり 森 哲也

町長

多様な学びを支援



助成制度の現状と課題

【森】不登校児童は一人ひとりの個性に鑑み、「学校復帰」のみではなく「多様な学びの保障」や「子どもの最善の利益」という観点で捉えることも大切である。その点について考えを伺う。

【町長】経済的負担を軽減するため、フリースクール等利用料助成制度を通じ、社会的自立につながる支援を進める。

【教育長】行政・学校・家庭・地域が連携し、一人ひとりに応じた支援と不登校の未然防止を進め、子どもの最善の利益につなげる。

【森】フリースクール等利用料助成制度は、対象となる条件として学校型の条件が重視される傾向にある。そのため、通っているフリースクールが出席扱いとして認められないケースが生じている。この点について、どのように考えるか。

【町長】助成制度を充実させ、保護者の負担軽減と多様な学びの継続を支援する。

【教育長】出席扱いは県などの基準に基づき校長が判断する。県認定施設で出席扱いとならない事例は把握していない。今後もしも学びや成長の状況を踏まえて適切に対応する。



おがわ ゆう 遊

町長

本町の公共交通と 地場産業の展望は 持続可能な地域の 実現に努める

【小川】車に依存しすぎない移動手段の確保を。バス路線の見直しや最新技術の活用など、公共交通網の再構築の考えは。

【町長】人口減少を緩やかにする取組と同時に、減少を前提とし、地域生活を支える機能の維持・確保など、持続可能な地域づくりを進める。

【小川】人口減少を避けられない構造変化と捉え、少ない人口でも豊かに暮らせる社会システムへの転換を問う。

人口減少は災害ではなく適応すべき変化。従来の対策だけでなく、持続可能な構造への転換の考えは。

人口減少への「対応」：
持続可能な町づくりの3本の柱

「対策」から「対応」へ

構造的な人口減少を受け入れ、少ない人口でも豊かに暮らせる仕組みへ転換する。



持続可能な交通網

自動車に依存しすぎず、最新技術（自動運転等）も活用した効率的な移動手段を再構築する。



地場産業で稼ぐ

地域の農林水産業や店舗が自立して「稼ぐ力」を最大化し、富が外に逃げない環境を作る。



人とお金が循環する町

交通と産業がつながり、地域内で経済と交流が巡り続ける持続可能な社会。

【町長】乗降データなどを分析したバス路線の見直しが検討される。また、自動運転の導入には十分な検討が必要。公共交通網の再構築へは、広域で連携して取り組む。

【小川】外部資本に頼らず地場の産業が自立して「稼ぐ」環境を。地域内でお金循環する仕組みの構築についてどう考えるか。

【町長】加工品開発やブランド化、温泉・食・体験などを組み合わせた滞在型観光の充実を進める。事業者の挑戦を支援し、関係者をつなぐことで、地域の稼ぐ力を高めていく。

旧たじりこども園の活用は

町長

利用形態の変更が 可能か検討してみたい



増井 久美



未使用部分の活用を
(旧たじりこども園)

【増井】雨の日や猛暑日に親子で遊べる場所とし

【町長】放課後児童クラブとして民間に委託している施設である。利用している児童の安全確保を第一に運営している。今後の目的外利用形態は、他施設を含め検討したい。

【増井】旧たじりこども園は放課後児童クラブに活用しているが、未使用部分もある。未使用部分を児童館のような形で子どもたちが集ったり、学習したりする場所として提供できないか。

で、遊戯室を使用できないか。
【町長】雨天・猛暑の日に対応した施設が身近に少ないという指摘は認識している。各課に公共施設、公園などで、どのような対応ができるか検討・指示をしている。

【増井】まだ新しい調理室を食品開発や研究に使用できないかという声がある。検討してはどうか。

【町長】地域住民、事業者からの利用希望は認識している。中長期的には普通財産化を前提に利用計画を検討してみたい。

物価高騰対策をしっかりと

町長

国の支援を有効活用

【増井】今回のアメリカとイランとの戦争は、家庭生活はもちろん、企業・事業所・医療・農業など、あらゆるところに影響を及ぼしている。今後、国からも補正予算の詳細が示されるであろうが、町としてしっかりと対策を取るよう要望する。

商工会加入業者・未加入業者、医療、介護、農業者などの実態を調査しているか。

【町長】農業支援については、JAを中心に照会しながら現状把握に努めている。

商工業については、町全体振興策として商品券発行や店舗機能の向上を支援。

医療、福祉関係へも様々な物価高騰対策を行



くらし応援ゆりはま商品券売り場
(湯梨浜町商工会)

なっている。

漁業者に対しては、重油高騰対策などを行なっている。

【増井】農業への影響はどうか。

【町長】農業資材高騰対策は現行の支援策に上乗せなどを検討している。

【増井】町民生活への影響も調査してもらいたい。

【町長】物価高騰の動向を注視しつつ、限りある財源の中で必要な対応策を適切に判断していく。

※このほか、「上下水道の課題について」も質問しました。

妊婦へのRSウイルスワクチン 定期接種における町の役割は

町長

情報提供と接種支援



こいずみ

小泉 かさね



妊婦へのワクチン接種で
赤ちゃんも感染症対策

【小泉】妊婦を対象としたRSウイルスワクチン定期接種が4月に始まった。対象者への周知方法・内容（ワクチン接種の方法・費用など）は。

【町長】RSウイルスワクチン定期接種については、国の通知に基づき母子手帳発行時やウェブ、チラシで接種方法や安全性などを丁寧に周知している。接種費用は無料。

実施方法と関係機関・職員間での情報・認識の共有状況は。

【町長】当該ワクチンの接種は、医療機関に向いて受けることとしており、職員間の情報共有を徹底している。

【小泉】RSウイルスワクチンは、従来のワクチンとは異なるリスクが予想されるが、考えられるリスクとそれらへの対応は。

【町長】当該ワクチンのリスクには、副反応や妊娠中の合併症増加の可能性があり、速やかな相談と救済制度の利用を周知している。

あなたの声を町政へ 読者アンケート

所要時間
約1分

「ゆりはま議会だより」をより分かりやすく、読みやすいものにするため、住民の皆さまのご意見を募集します。

また、いただいたご意見は、議会だよりの編集や議会活動などの参考とし、皆さまの声を町政へ届けるために活用していきます。

質問

- 今号で関心を持った記事
- ご意見・ご感想・取りあげてほしいテーマ

回答方法

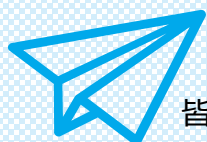
QRコードから回答

こちらからご回答ください⇒



お電話でも受け付けております。

湯梨浜町議会事務局
0858 (35) 5341



皆さまの声やそれを受けた改善内容は、今後の議会だよりでご報告します。

「この海を未来へ」

クラウドサーフ ひとし
CROWD SURF 横山 仁志さん

石脇のサーフショップ「CROWD SURF」を運営されている横山さんにお話を伺いました。（聞き手 森、三谷）



石脇海岸で「CROWD SURF」というサーフショップをしています。これまでに世界各地いろんなビーチへ行きましたが、約20年前に初めて石脇海岸に来た時、この波を見て衝撃を受けました。海外にも負けない。それに加えて砂浜がむちゃくちゃ白くて綺麗だったのを覚えています。「こんな場所が近くにあったんだ」と。そこから石脇へ通うようになり、店を始めました。

高校ではサーフィンの授業を通じて子どもたちに海の素晴らしさ、そして危険もあるのが自然の世界なのだと伝えていきます。こういう綺麗な海がすぐ近くにあることは、実は贅沢なことなんだよということも知ってもらいたいと思っています。

昔は海水浴場や海の家がありました

したが、コロナや担い手不足でその風景は変わりました。それでも石脇海岸の魅力は変わりません。今はビーチクリーン活動が続け、「海に入ったら1つごみを拾おう」という運動にも取り組んでいます。竹を使った休憩スペースづくりなど、人がゆっくり過ごせる風景を増やしながら、この町の美しい海・山・川の魅力をもっと多くの人に知ってもらえたら嬉しいです。



サーフィン体験をする学生たち

議会の傍聴をお気軽に

傍聴は議会の審議内容や、議会活動、町政の内容などを知ることのできる身近な方法です。どなたでも傍聴できますので、役場3階へ、お気軽にお越しください。議会の日程は、広報ゆりはま、防災無線放送、町ホームページでお知らせします。

次回の定例会は

9月15日(火)～
午前10時開会

※日程は変更になる場合があります。
詳しくは町ホームページへ。

編集後記

今、2040年問題が言われている。人口減少と少子高齢化が理由だ。思い返せば、平成の大合併も同じ理由だった。あれから20年が経過し、合併の有無に限らず、ほとんどの自治体で人口は減少した。あの合併騒動はいったい何だったのだろうかと思う。

確かに人口減少も少子高齢化も大事なことが、世間に振り回されるのはやめたほうがいい。地道にこの町に住む人たちの幸せを追求しよう。若者の声に耳を傾けよう。高齢者の心に思いを馳せよう。

2040年に湯梨浜町が元気に存続しているように、みんなで力を合わせよう、私は言いたい。

(記 増井)

【編集】
議会広報常任委員会